

■ 自然観察ウォッチング「野鳥観察会」

令和2年2月8日(土)、野鳥観察の基礎講習会並びに県立相模原公園及び相模原沈殿池での野鳥観察会を開催しました。一般市民の参加者32名に対し、講師として麻布大学野鳥研究部の学生9名と相模原の環境をよくする会から役員・会員7名、事務局3名が参加し、全51名で実施しました。

スタート地点の市民健康文化センターにて麻布大学野鳥研究部の学生より、野鳥観察の基礎知識、バードウォッチングの楽しみ方や双眼鏡の使い方、今回見られるかもしれない鳥たちの特徴などについて教えていただきました。

当日は天候にも恵まれ日差しの暖かさを感じられる日和で、4班に分かれて、参加者の皆さんもどんな野鳥と出会えるかと期待を抱きながら、県立相模原公園へ出発しました。

林道を歩きながら麻布大学野鳥研究部のガイドのもと、野鳥のさえずりに耳を澄まし、姿を見ては双眼鏡で観察を行いました。相模原沈殿池では、フィールドスコープを設置し、覗いて見ると、向こう岸で水鳥たちが水面を泳いだり、休んでいる様子がはっきり観察でき、和やかな雰囲気を感じることができました。近年、沈殿池内の浮きの数が減り、水鳥の数も減ってきているそうですが、この日は羽を休ませ休憩していたのかもしれない。

会議室に戻り、最後に班ごとに観察できた野鳥のまとめを行い、4班とも24種類以上の野鳥が確認されたとのことで、参加者の皆さんも大変満足された笑顔が印象的でした。

山と緑と水などの自然環境を守り、野鳥たちも住みよい相模原市であるよう今後とも「ワンチーム相模原」で自然を大切にしていきたいと思います。

(東京ガス(株) 大河内)



実施日：令和2年2月8日(土) 会場：県立相模原公園、相模原沈殿池 他 参加者：32人
参加役員・会員：(株)ニコン、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、KYB(株)、(一財)生物科学安全研究所、日産自動車(株)、大和ハウス工業(株)